

学年	高校 1 年	教科	英語	科目	論理・表現 I	単位数	2
教科書名		Vision Quest I Standard (啓林館出版)		副教材名	Vision Quest I Standard ワークブック (啓林館出版) スクランブル英文法・語法 4th Edition (旺文社出版)		
コース・クラス		選抜・N 進					

I. 目標

英語学習を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

II. 授業のねらい

- 1 与えられた話題について、基本文や語句を用いて、即興で話させることで「話すこと（やり取り）」の力を養う。
- 2 日常的また社会的な話題について、学習した基本文、文法事項、語句を用いてスピーチやプレゼンテーションなどの活動をさせることで、論理の構成や展開を工夫して話す、「話すこと（発表）」の力を育む。
- 3 1・2の活動に伴い、学習した文法事項を用いて自分の言葉で発表原稿の作成や課題に取り組むことで「書くこと」の能力を育成する。

III. 授業の進め方

- (1) 各章の例文の音読活動を、付属の動画資料などを用いて学習し、基本文を定着させる。
- (2) 各単元の文法事項を学び、それらを用いて自分で考えた文章を書きだす。
- (3) 毎週、復習内容の課題を出す。また定期的に小テスト実施し、定着の度合いを図る。
- (4) 副教材を使用し、演習を行う。

IV. 学習上の留意点

- (1) 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
- (2) 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
- (3) 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

- (1) 教科書と問題集の内容に基づいて出題する。
- (2) 定期試験の範囲（予定）
 - 1学期 中間試験 : 文の種類、文型と動詞、時制
 - 1学期 期末試験 : 完了形、助動詞
 - 2学期 中間試験 : 受動態、不定詞
 - 2学期 期末試験 : 動名詞、分詞、関係詞
 - 3学期 学年末 : 比較、仮定法

VI. 評価の方法

- (1) 授業中の活動
- (2) 発表
- (3) 課題の提出
- (4) 各種テスト

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	Lesson 1	定期試験 小テスト 発表 提出物	文法 文の種類: さまざまな疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答することができる。また、単文、重文、複文の構成を理解し、読み手に伝わりやすく表現することができる。 表現 話す[発表]: 自分や他者のクラブ活動を紹介できる。 書く: 趣味や好きな科目について、理由や具体例などを用いて説明できる。 ・文と文の論理的関連性をもって文章を書いたり、伝えたりすることができる。
	5	Lesson 2		文法 文型と動詞: 5つの文型と There is の構文の注意点を理解し、文を組み立てることができる。また、自動詞と他動詞の使い分けができる。 表現 話す[やり取り]: 文化祭について話し合うことができる。 書く: 普段の生活や自分の身の回りにあるものについて、具体例や情報を挙げて説明ができる。
	6	Lesson 3		文法 時制: 基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて、書いたり話したりすることができる。 表現 話す[発表]: 報道記事(新聞・ネット)または歴史的出来事について詳細に話すことができる。 書く: 最近見聞きしたことについて、具体的に詳しく書いて伝えることができる。 ・会話の構造を理解し、論理的な展開やスムーズな流れに焦点をあて、会話を組み立てることができる。
	7	Lesson 4		文法 完了形: 現在・過去・未来完了形の意味と用法を理解し、それぞれの用法を使い分けすることができる。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりすることができる。 表現 話す[やり取り]: スポーツや音楽の経験について伝え合うことができる。 書く: 行ったことがある場所や初めて何かを経験した時のことについて、考えや気持ち、具体例を挙げて、伝えることができる。
		Lesson 5		文法 助動詞: 助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 表現 話す[やり取り]: 将来の夢について伝え合うことができる。 書く: いつかしてみたいことについて、必要な情報も添えて、考えや気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。

一学期	9	Lesson 6	定期試験 小テスト 発表 提出物	・つなぎの言葉やパラグラフの構成（主題文、指示文、結論文）を学び、1つのトピックについてパラグラフを書くことができる。 文法 受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、使い分けることができる。 表現 話す[やり取り]：話に客観性をもたせ、ソフトな言い方（湾曲表現）を用いて様々な事柄を伝えることができる。 書く：お薦めの小説や最近驚いたことについて、情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝えることができる。
		Lesson 7		文法 不定詞：不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。 表現 話す[やり取り]：受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。 書く：自分の夢、高校生が日常生活で行うべき大切なこと、日常生活でしないように気を付けていることについて、自分の意見や主張などを根拠と共に書いて伝えることができる。
				プレゼンテーション プレゼンテーションの概要と流れを理解し、原稿と提示する資料を準備することができる。また、事前に十分な練習を行い、具体的な内容を用いてわかりやすく説明することができる。
	10			
		Lesson 8		文法 動名詞：動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。 表現 話す[発表]：スポーツをする・観戦することの利点について発表することができる。 書く：得意なスポーツや活動、楽しみにしていることについて、情報や具体例を加えて詳細に書いて説明することができる。
	11	Lesson 9		文法 分詞：名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 表現 話す[発表]：自分自身や自身の性格について発表することができる。 書く：家族や友人と撮った写真、もしくは報道写真について、具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができる。
				ディベート ディベートの概念や流れ、判定基準を学び、それぞれの立場で説得力のある意見を述べるができる。
		Lesson 10		文法 関係詞：関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。 表現 話す[発表]：生活様式から芸術までを含む様々な文化について紹介することができる。 書く：家族や友だちの紹介や、あなたに必要なもの、どんな国に住みたいかについて詳細に伝えたり、その理由を根拠とともに文章を書いて伝えることができる。
	12			

三 学 期	1	Lesson 11	定期試験 小テスト 発表 提出物	文法 比較 ：比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。
	2			表現 話す【やり取り】 ：国際問題について自分の考えを伝え合うことができる。 書く ：本と映画どちらに興味があるか、また最も幸せなときについて、自分の主張の理由や根拠を加えて、詳しく説明することができる。
	3	Lesson 12		ディスカッション ディスカッションの手順と役割を理解し、自分の意見と論拠を主張することができる。また、主張には根拠と具体例を加えて説明することができる。
				文法 仮定法 ：仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。
				表現 話す【発表】 ：日本の社会問題について自分の意見を発表することができる。 書く ：タイムマシーンがあったら過去と未来どちらに行きたいか、また自分や家族に望むことについて、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して、伝えることができる。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。